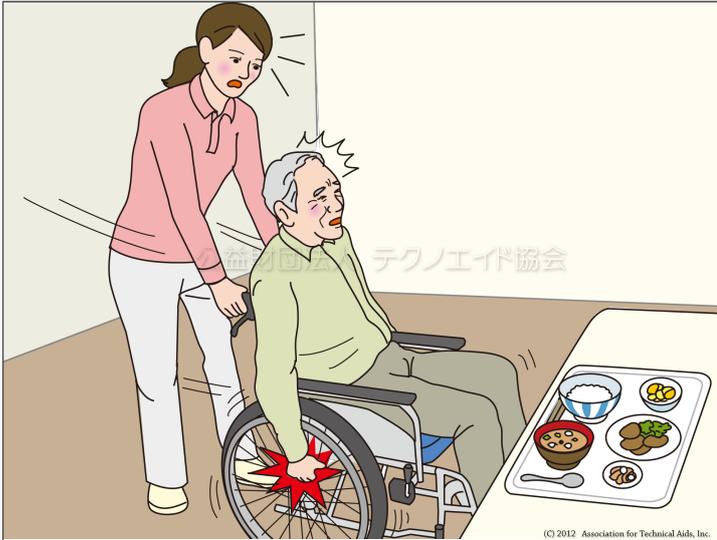


Case : 139

タイヤに指が入っていることに気づかず操作したため、ケガをしそうになる

場面の説明

利用者の腕が下がり、指がタイヤのスポーク内に入っていることに気づかず車いすを操作してしまった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 リビング・居間
	 ダイニング・食堂
	 廊下
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

車いすの後ろに立つと死角となり見えづらい箇所があり、利用者の腕や手の位置も見えづらい場合があります。腕はアームサポートや膝の上に置くことを基本として、移動前に確認することを習慣づけることが大切です。また、走行中の振動などで腕が落ちてしまうこともあります。タイヤに巻き込まれたり脱臼したりという危険があります。頻繁にある場合には放置せず、クッションなどで腕を保持するなどの工夫をしましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：死角になっている箇所に注意がなかった
- 人：急いでおり、目視で確認するのを怠った
- モノ：アームサポートの高さが利用者とは合っていなかった